



煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集*渡部
TEL 046-223-0110

春の行楽期における山岳遭難の防止

～登山計画書を提出しましょう～

新入学児童・園児を交通事故から守る運動の実施

- 1 目的
県民一人一人が交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、新入学児童・園児を交通事故から守り、交通ルールとマナーの基本を身に付けさせることで、交通事故防止の徹底を図ります。
 - 2 期間
平成31年4月5日(金)から4月11日(木)までの7日間
 - 3 スローガン
新入学児童・園児を交通事故から守ろう
 - 4 重点
 - (1) 新入学児童・園児の交通事故防止
 - (2) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートでの正しい着用の徹底
 - (3) 横断歩道における歩行者優先の徹底
県民の皆さんは、特に次のことに心掛け交通事故を防止しましょう。
- ◎ 新入学児童・園児の交通事故防止
 - 家庭では、子供とともに通学・通園路を事前に確認し、危険な箇所での通行方法等を現場で指導し、実行させましょう。
 - 職場では、朝礼や会議の場での交通安全指導や社内の広報媒体を活用し、子供を交通事故から守る意識を高めましょう。
 - 運転者は、学校や公園等の周辺を走行するときは、飛び出し等の子供の特性を考慮し、安全運転に努めましょう。
 - ※ 県内では、歩行中の小学生が関係する交通事故の原因として、「飛び出し」が半数以上を占めています。また、7歳(1,2年生)が最も多く被害に遭っています。
 - ◎ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートでの正しい着用の徹底
 - 家庭では、自動車で出かける家族にシートベルトやチャイルドシートの着用と安全運転の「ひとこえ」をかけましょう。
 - 職場では、出勤、退社時にシートベルト着用状況を確認するなど、着用の徹底について指導しましょう。
 - 運転者は、幼児が同乗する場合、体格に合ったチャイルドシートを正しく着用する習慣を付けましょう。

- ◎ 登山計画書は決まった様式はありません、「住所、氏名、携帯電話番号、緊急の連絡先、登山日程、登山方法、行動予定等」を記載してください。
 - ◎ 登山計画書は、各都道府県の提出先や登山口にある投函箱等に提出しましょう。
 - ◎ (神奈川県)の提出先
山岳を管轄する警察署(交番・駐在所を含む)及び登山口に設置された登山計画書投函箱のほか、警察本部地域総務課や県内の各警察署でも受け付けています。
 - 神奈川県警察ホームページからオンラインによる提出も可能です。
 - ◎ 登山の第一歩は、目的とする山をよく理解することから始まります。ガイドブック等で事前に登る山の山岳情報を調べましょう。
 - ◎ 登山計画書を作成して、登山者全員がその山を理解するとともに、体力と経験に合った無理のない計画であるか検討しましょう。
 - ◎ 登山計画書は決まった様式はありません、「住所、氏名、携帯電話番号、緊急の連絡先、登山日程、登山方法、行動予定等」を記載してください。
 - ◎ 登山計画書は、各都道府県の提出先や登山口にある投函箱等に提出しましょう。
 - ◎ (神奈川県)の提出先
山岳を管轄する警察署(交番・駐在所を含む)及び登山口に設置された登山計画書投函箱のほか、警察本部地域総務課や県内の各警察署でも受け付けています。
 - 神奈川県警察ホームページからオンラインによる提出も可能です。
- 春の行楽期には、例年、丹沢山塊や箱根方面の山々に県内外から数多くの登山者が訪れます。この時期は、ふもとには春の穏やかな気候でも、山頂付近は天候の急変により冬山に様変わりすることもありますので、事前の準備を万全にするとともに、登山中の危険防止に十分注意を払って、慎重な行動をとることが必要です。
- 登山中の事故を防止するために

事件記録板

2月中旬から3月中旬までの事件は、

- ・ 交通事故の発生があったものの侵入盗等の事件の発生はありませんでした。
- ※ 先月号で自動車盗の被害車両が、運動公園近くの路上に放置されるという事件があった事をお知らせしましたが、最近、リレーアタックと呼ばれる自動車盗の手法が確認されています。リレーアタックとは、スマートキーから漏れる微弱の電波をキャッチし、車両近くの送受信機に中継、増幅させて、あたかもスマートキーが車の近くにあるように誤認させて、ドアの開錠、エンジンスタートさせるものです。鍵は家の中でも車側に置かず、空き缶などに入れ、外に電波が漏れないようにする事で被害が防げます。
- ※ 引き続き、振り込め詐欺にもご注意ください。

駐在所の独り言 ～人生の終い(しまい)方って??～

この時期の寒暖差が影響しているのでしょうか。多くの方が亡くなり、また複数の葬儀に出席しました。本当に亡くなる前の皆さんは、本当に頑張っていました。本当にご苦労様でしたという気持ちで一杯です。でも、今まで苦労の連続で生きて来たのですから、最後まで、のんびりと余生を楽しんで過ごして欲しいという想いもあります。誰でも必ず訪れる人生の終い。病気で入院の連続だったり、今元気であっても年齢が上がれば少なからず人生の終いを意識し頑張るんですね。何かやり残した事がないかと模索する。人生最後に社会貢献して何か役立ちたい。でも実際は、なかなか上手くいかず、空回りすることもあります。例えば、社会貢献と言いながら若者が路上で喫煙しているのを注意して、逆に暴言を吐かれる。見ず知らずの人にいきなり注意しても、心に届かなければ意味がないと気づき、やっぱり、社会貢献の名のもと押し売りは迷惑だったかと・・・深く考えず行動していた自分に反省も悩む。そして何でもかきから行動すればいい訳ではないと気づく。こんなことの繰り返しで空回りに悩み、焦りや苛立ちや普段と違った行動で家族や周りの人をも困惑させる事もあるようです。でも充実していないと苦しむ必要もないし、社会貢献も考える必要もない。敢えて人生を終える覚悟を持ったからって、ハードルを上げる必要もないと思うんですね。人生の最期にこうした悩みや苦悩のある人やそうした人を支える奥様、御家族に是非聞いて欲しい歌を見つけました。この歌は高校の倫理の教科書の資料集にも掲載されたようですが、ミスチルの「彩り」という曲です。この曲は、何の変化もない、ありふれた日々嫌気が差すことがあっても、そのありふれた日々だからこそ、大切なものがあるという曲です。例えば笑顔での挨拶「ただいま、おかえり」日々のありふれたキャッチボールが、モノクロ写真から、赤、黄色、緑と次から次へとカラーが増えていき彩りとともに幸せが増していくという歌なんです。多くの方が、人生最後にやり残した後悔は、「愛する妻と家族にありがとうが言えなかった。」「もっと家族と楽しめば良かった。」の2つが大多数を占めるようです。きっと今までも言えなかったし、家族にも何も出来なかったと思います。でもこれからの大丈夫です。しかめっ面から笑顔で奥様や御家族に笑顔で「今までありがとう。」ってボールを投げてください。そしたら奥様を始めとして御家族の皆さんは「これからも宜しくね。」とボールを投げ返してください。そして、家族で写真を撮ったり今までの人生を語ったりしながら終いまで、楽しく笑顔で生きて行って欲しいですね。どうか、皆さんが素晴らしい人生の終いまで、思う存分に楽しんで人生を謳歌して欲しいですね。